

教育研究業績書

2020年10月27日

所属：景観建築学科

資格：准教授

氏名：森本 順子

研究分野	研究内容のキーワード
建築設計, 建築計画	村野藤吾の建築作品に関する研究 (意匠論)
学位	最終学歴
博士 (建築学), 修士 (工学), 学士 (工学)	武庫川女子大学大学院 生活環境学研究所 建築学専攻 博士後期課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

1 教育方法の実践例		
1. 建築一般構造Ⅱにおけるディテールの理解を深めるための取り組み	2014年4月～現在	建築一般構造Ⅱでは、矩計図の作図を最終目的とし、建築のディテールや材料についてより具体的に理解できるように、毎回、異なる建築部位の詳細図の解説を行っている。さらに授業では、解説を行った建築部位の詳細図の作図を課し、学生自らが実際に手を動かして図面を作成することで、授業内容への理解を深め、各自の設計にも生かすことができるようにしている。
2. 建築設計実務における実際のプロジェクトへの参画	2014年4月～現在	大学院修士課程「建築設計実務」では、学生が武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオ（一級建築士事務所）を拠点として学外のプロジェクトに参画し、実務訓練を行っている。これまで、阪神電車鳴尾駅・駅舎新築工事（2014年度～継続中）、パーミヤーン平和博物館（2015年度）、旧甲子園ホテルの家具の復元（2016年度）、就活シェアハウスのモザイクタイル画制作（2016年度）などを実施した。2017年度は、大学対抗建築コンペ「エネマネハウス2017：学生が考える実現可能な一次エネルギー消費量ゼロの家」を課題に取り上げ、応募したところ、実際にモデルハウスを建築する事業者として採択された。うめきたサザンパークに省エネ住宅を建築し、一般に公開した。演習では、図面や模型の作成、シミュレーション、施工者など多くの専門家との協働の仕方などを実地で学び修得する。またモデルハウスを使った実証実験を通して理論と事象を検証する。朝日エティック株式会社からの依頼で、2016年度より同企業のグループ会社・株式会社エティックテクノ大阪 大阪工場敷地内に従業員のための憩いの場となる庭園を設計、2017年度は植樹などの造園を体験した。

2 作成した教科書、教材		

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. エネマネハウス2017 統括事業代表者	2017年4月～2018年2月	大学と民間企業等の連携により、先進的な技術や新たな住まい方を提案するZEHのモデル住宅を実際に建築し、住宅の環境・エネルギー性能の測定・実証や、展示を通じた普及啓発を行うプロジェクト。
2. 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 共催 東京センター 講演会シリーズ「シルクロードの文化と建築」 企画・運営	2015年2月28日～現在	本講演会シリーズでは、シルクロードを通して行われてきた、わが国と地中海を結ぶはるかにダイナミックで長い歴史の異文化交流とその文化遺産保護活動について考える。
3. 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 共催 東京センター 講演会シリーズ「わが国の近代建築の保存と再生」 企画・運営	2011年6月4日～現在	国登録有形文化財指定を受けた甲子園会館（旧甲子園ホテル）を大学の校舎として、また建築学科の教材として活用していることから、本講演会シリーズでは、豊かな都市環境の在り方について考える。
4. 一級建築士	2009年3月3日	免許取得

4 その他		
1. 大阪木材仲買会館における学生の作品展示	2015年～現在	展示企画 大阪木材仲買協同組合からの依頼により、毎年、学部2年生の木造の課題（クラブハウス・住宅）を中心とした学生の模型作品を展示。その企画・展示、説明パネル作成を担当。
2. 甲子園会館ライトアップ	2015年～現在	イベント企画・運営 光のデザインのフィールドワークとして実施されるライトアップイベントにおいて実施される催し物の企画・運営を担当。
3. 建築学科パンフレット制作	2014年～現在	企画・制作 建築学科を紹介するパンフレットについて、掲載記事の企画、紙面の作成などを担当。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要

1 資格、免許		
1. 一級建築士	2009年3月3日	免許取得

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. エネマネハウス2017 依託事業者として採択	2017年6月21日	エネマネハウス2017事務局主催 統括事業代表者
2. 慰霊碑デザインコンペティション（千鳥ヶ淵戦没者墓苑内）佳作	2009年11月24日	独立行政法人平和祈念事業特別基金主催
3. 第30回hiroba作品賞：「暮雪荘」	2005年12月5日	近畿建築士会協議会主催 設計・監理 主担当
4. 1995年度競技設計課題「テンポラリー・ハウジング」入選	1996年5月28日	日本建築学会主催
5. （仮称）金津創作の森センター施設プロポーザルコンペ デザイン賞	1996年11月24日	福井県金津町主催

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 村野藤吾の建築作品における複曲面に関する研究	単	2014年3月	武庫川女子大学大学院	
3 学術論文				
1. Kisekae House: Movable Building Devices and Lifestyle (査読付)	共	2018年12月	PLEA (Passive LowEnergy Architecture) 2018 conference Proceedings	Tomoko Uno, Junko Morimoto, Shigeyuki Okazaki, Aya Yamaguchi, Keisuke Inomata 大学院建築学専攻では2017年度の「建築設計実務Ⅰ・Ⅱ」の演習において修士課程1・2年の19名が、「エネマネハウス2017」に取り組んだ。提案したZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）の概要、省エネルギーを可能にするキセカエアイテムの紹介、環境技術面での結果などについて報告する。
2. Design of Hanshin Electric Railway Naruo Station with Plank Sheets (査読付)	共	2017年01月	Intercultural Understanding Vol.6, pp.23~30	岡崎甚幸, 川口衛, 田川浩之, 杉浦徳利, 猪股圭佑, 森本順子, 山口彩 阪神電車鳴尾駅における、プランクシートをシェルの構造体として用いるために行った構造実験とそれにより最低限の部材によって構成された駅舎の設計について報告した。下地材が不要なプランクシートによって壁と天井が一体となり、階段やエスカレーター、エレベーター、サインなどが乗降客に対して記号としてくっきりと浮かび上がって見える駅舎空間を実現した。
3. 村野藤吾の建築作品の外形にみられる複曲面の特徴 (査読付)	単	2014年2月	日本建築学会計画系論文集 Vol.79, No.696, pp.543-551	村野藤吾の4つの建築作品における曲面の構成要素を設計図から調査し、関数のグラフと重ね合わせることで近似し、曲面の断面線の形を数式化する。
4. 村野藤吾の設計研究〈その2〉-住宅作品における平面構成-	共	1998年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系(38), pp.833-836	森本順子, 西村征一郎(京都工芸繊維大学名誉教授) 平成10年度京都工芸繊維大学大学院修士論文に基づく。村野、森建築事務所の設計図から住宅作品の図面内容を調査し、アプローチ空間や諸室の構成、ゾーンの区分についての変遷や設計手法の分析。

その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				

1. キセカエハウスのプロジェクトを通じた環境教育	共	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集D-2, pp.333~336	宇野朋子, 森本順子, 岡崎甚幸, 杉浦修史, 猪股圭佑, 山口彩 「キセカエハウス」は、学生対抗建築コンペ・エネマネハウス2017で大学院建築学専攻が提案したZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）である。プロジェクト全体を通して、環境教育における学生の取り組みと成果について報告する。
2. キセカエハウス 一住み継ぎを可能にするしつらえー	共	2018年9月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1, pp.74~75	大原こころ, 池澤萌子, 上原陽, 江口知里, 神本希美, 永田瑞季, 野村侑子, 吉住春香, 岡崎甚幸, 杉浦修史, 宇澤善一郎, 森本順子, 宇野朋子, 猪股圭佑, 山口彩 「インテグレイティブZEHデザイン（エネマネハウス）」部門にて優秀賞を受賞 大学院建築学専攻では2017年度の「建築設計実務Ⅰ・Ⅱ」の演習において修士課程1・2年の19名が、「エネマネハウス2017」に取り組んだ。2017年度のテーマである“LIFE DESIGN INNOVATION”～住まい・

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
3. キセカエハウス ー伝統的住環境 技術を用いた対話のしつらえー	共	2018年9月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 72～73	コミュニティに多様な新しい価値を創造する～ に対 する提案について報告する。 川崎祐華, 井ノ口果穂, 帯辺菜穂, 田中佐弥, 堀内 環美, 田村早帆, 前田真季, 野崎奈緒美, 佐々木み なみ, 岡崎甚幸, 杉浦修史, 宇澤善一郎, 森本順子 , 宇野朋子, 猪股圭佑, 山口彩 「インテグレイティブZEHデザイン (エネマネハウス)」部門にて優秀賞を受賞 大学院建築学専攻 (2017年度・修士課程1・2年生19 名) が提案した「キセカエハウス」は、住み心地が よく、家族や地域と積極的な交流を生むZEH (ネット ・ゼロ・エネルギー・ハウス) である。本提案では 、「住まうこと」とは、住まい手自らが自然環境や ライフスタイル、地域との繋がりに応じて住宅をつ くりかえてゆくことと考え、伝統的住環境技術を用 いた「変化するしつらえ」によって省エネを実現し た。しつらえのアイデアや環境制御の方法や結果に ついて報告する。
4. 朝日エティック株式会社 大阪工 場 庭園	共	2018年9月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 412～413	山口彩, 岡崎甚幸, 森本順子, 猪股圭佑 2016年5月に朝日エティック株式会社より同社大阪工 場敷地内に従業員のための庭園の計画を依頼された 。2016～2017年にかけて大学院「建築設計実務 I・ II」の演習課題として取り上げ、発注者や施工者と 産学連携で取り組んだ。2017年度は、修士課程1・2 年の18名の学生が庭園の詳細設計を行い、造園会社 の協力を得て造成工事および植樹を体験した。庭園 のコンセプトや計画内容について報告する。
5. KISEKAE HOUSE Communication ge neration with environment and neighbors	共	2018年10月	ISIAIA 2018 : Confluen ce of Architecture in the Age of Super Con nectivity	上原陽, 岡崎甚幸, 宇野朋子, 森本順子, 杉浦修史 , 猪股圭佑, 山口彩 Academic Sessions にて口頭発表、「Excellent Res earch Award」を受賞 大学院建築学専攻では2017年度の「建築設計実務 I ・II」の演習において修士課程1・2年の19名が、「 エネマネハウス2017」に取り組んだ。提案したZEH (ネ ット・ゼロ・エネルギーハウス) の概要、省エネ ルギーを可能にするキセカエアイテムの紹介、実証 実験の結果などについて報告する。
6. 阪神電車鳴尾 (武庫川女子大前) 駅 その2 プランクシートの表面温 度計測および構造実験	共	2017年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 412～413	山口彩, 吉野有里恵, ポズクルツベイズナル, 岡崎 甚幸, 川口衛, 宇澤善一郎, 猪股圭佑, 森本順子, 杉浦徳利 阪神電車鳴尾 (武庫川女子大前) 駅の設計提案、実 務演習における指導 プランクシートをシェルの構造体として用いるため に行った表面温度計測試験や構造実験の概要、現場 での施工について報告する。下地材が不要なプラン クシートによるプラットホーム上屋では、階段やエ スカレーター、エレベーター、サインなどが乗降客 に対して記号としてくっきりと浮かび上がって見え る。今回の設計を通して、建築材料、特に仕上材や 構造材としては一般的でないプランクシートの有効 性を示し得た。阪神電車鳴尾駅におけるプランクシ ートを構造体として使用し、最低限の部材によって 壁と天井が一体の空間を構成する手法は、駅舎など 記号性が求められる建築の設計に有効であろう。
7. 尼崎の工場敷地内 庭園計画 その 1	共	2017年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 154～155	磯上奈穂美, 奥田まり, 平嶋奈弥, 岡崎甚幸, 猪股 圭佑, 森本順子, 山口彩 朝日エティック株式会社大阪工場敷地内庭園の設計 、授業における指導 兵庫県尼崎市に工場を構える、朝日エティック株式 会社の工場敷地内の一角に、従業員が安らげる庭園 を計画する。対象敷地は沿岸部の埋立地で、海風が きつく、時より突風が吹くなど植物にとって気候条 件の厳しい地域である。設計に先立って、クライア ントが持っている天龍寺のモミジの苗木を植えたい 、従業員と花見をしたいなどの要望があり、さらに この敷地の一部に2台分の駐車場も含めることが設 計条件であった。それらを踏まえて、本設計では日 本の回遊式庭園となるようにデザインを行った。
8. 尼崎の工場敷地内 庭園計画 その 2	共	2017年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 156～157	奥田まり, 磯上奈穂美, 平嶋奈弥, 岡崎甚幸, 猪股 圭佑, 森本順子, 山口彩 朝日エティック株式会社大阪工場敷地内庭園の設計 、実務演習における指導 本計画は朝日エティック株式会社の大阪工場敷地内 に庭園を設計するものである。植栽計画ならびに照 明計画の概要、庭園灯の設計について述べる。本計 画では、庭園が四季折々の表情を見せるよう植物の 選定、配置を行った(図1、図6)。また、オオシマザ クラ・モミジ・アラカシといった中・高木をシンボ ルツリーとして配置し、その周りに歩行空間や人が

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
9. 阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 その1	共	2017年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 410~411	集い、憩うための空間を計画した。季節毎に表情を 変える植物の見どころを存分に際立たせつつ、庭園 に適当な明るさを与えるような照明計画を行った。 吉野有里恵, 山口彩, ポズクルツベイザナル, 岡崎 甚幸, 川口衛, 宇澤善一郎, 猪股圭佑, 森本順子, 杉浦徳利 阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅的设计提案、実 務演習における指導 武庫川女子大学の玄関口である阪神電車鳴尾駅のプ ロジェクトにおいて、詳細図やCGパース、模型を作 成し、コストや施工方法にも配慮したディテールを 検討し、外観やホーム、コンコースなどのデザイン を提案した。打合せでは、作成した図面や模型を用 いて学生自らがプレゼンテーションを行っている。2 015年3月に阪神電車鳴尾駅下りホーム、2017年3月 に上りホームが完成した。本稿ではプランクシート を用いたことにより最低限の部材によって構成され た駅舎空間の設計について報告する。
10. 阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 その3 上りホーム床モザイクタ イル画のデザイン	共	2017年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 414~416	ポズクルツベイザナル, 吉野有里恵, 山口彩, 岡崎 甚幸, 川口衛, 宇澤善一郎, 猪股圭佑, 森本順子, 杉浦徳利 阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅的设计提案、実 務演習における指導 武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオおよ び同大学院 建築学専攻 修士課程1・2年生の9名は、 阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 上りホーム床の モザイクタイル画10点を制作した(2016年度後期に 実施)。モザイクタイル画のテーマ決定から、図案 検討、現場で施工する一段階前のシート貼りまで の作業について報告する。
11. 阪神電車鳴尾駅の自由通路の柱に おけるモザイクタイル画の制作方 法の提案	共	2016年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 402~403	高田悠希, 今治こみ加, 尾崎綾, 谷なつき, 岡崎甚 幸, 宇澤善一郎, 猪股圭佑, 森本順子, 山口彩 阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅的设计提案、実 務演習における指導 阪神電車鳴尾駅の自由通路の柱を題材に、まちの歴 史的風景として「鳴尾の一本松」をモザイクタイル 画で描く。本稿ではモザイクタイルでの表現方法や 柱のディテールについて提案した。
12. 阪神電車鳴尾駅の歴史的風景とし ての「鳴尾の一本松」の絵の提案	共	2016年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 400~401	今治こみ加, 高田悠希, 尾崎綾, 谷なつき, 岡崎甚 幸, 宇澤善一郎, 猪股圭佑, 森本順子, 山口彩 阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅的设计提案、実 務演習における指導 阪神電車鳴尾駅自由通路内中央の柱(高さ4700mm、一辺 1100mm)に武庫川女子大学 建築・都市デザインス タジオ一級建築士事務所と同大学院建築学専攻修士課 程1年による一本松のモザイクタイル画を提案した。 この柱は駅改札口前の中央、最も人通りの多い場 所にある。街のシンボルとするのにふさわしい場所 と考え、この柱に地域の歴史的風景である「鳴尾の 一本松」の絵を施すことを検討した。
13. 旧甲子園ホテルの酒場のテーブル の復元	共	2016年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 396~397	今川泰江, 伊藤知夏, 岡崎甚幸, 宇澤善一郎, 猪股 圭佑, 森本順子, 山口彩 実務演習における指導 旧甲子園ホテルの酒場の椅子に引き続き、テーブル についても復元を試みた。酒場のテーブルは、椅子 とセットで設えられており、旧甲子園ホテルの内部 空間を研究する上で重要と考える。
14. 旧甲子園ホテルの酒場の椅子の復 元	共	2016年8月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 394~395	伊藤知夏, 今川泰江, 岡崎甚幸, 宇澤善一郎, 猪股 圭佑, 森本順子, 山口彩 実務演習における指導 甲子園ホテルは、フランク・ロイド・ライトの愛弟 子である遠藤新の設計により1930(昭和5)年に竣工 した。本プロジェクトでは、甲子園ホテル時代の写 真をもとにそこで使用されていた家具の復元を行い 、当時の室内空間の再現を試みた。そのデザインの 着想は、甲子園ホテルの建物のデザインを意識し、 その特徴を反映させていると推察する。今後、甲子 園ホテルの装飾について研究する上でも重要と考え 、酒場で用いられていた椅子を復元した。
15. 阪神電車鳴尾駅におけるモザイク タイル画のデザイン	共	2015年9月	日本建築学会大会建築 デザイン発表梗概集G-1 , pp. 252~253	中村優花, 中野沙耶, 岡崎甚幸, 宇澤善一郎, 猪股 圭佑, 森本順子 阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅的设计提案、実 務演習における指導 兵庫県の都市計画事業である「阪神本線西宮市内連 続立体交差事業(鳴尾工区)」により、武庫川女子 大学の最寄駅である鳴尾駅(下り駅舎)が高架化さ れた。2015年3月に下りホームが完成し、そのプラ ットホームに武庫川女子大学 建築・都市デザイン スタジオ一級建築士事務所と同大学院建築学専攻修士

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
16. 大阪ビルディング本館の北東角軒部分の保存について	共	2012年9月	日本建築学会2012年大会	課程1年の7名のデザインによる13のモザイクタイル画が設置された。モザイクタイル画の図案制作だけでなく、タイル一つ一つを図案通りに配列し、現場で施工する一段階前の300角シート貼りまでの作業を行った。
17. 村野藤吾の設計研究〈その2〉-住宅作品における平面構成-	共	1998年7月	日本建築学会近畿支部平成10年度研究発表会	森本順子, 岡崎甚幸 (教授・建築学科長) 建築アーカイブの事例としての大阪ビルディング本館の北東角軒部分の保存方法と、建物外壁に使用されていたレンガやテラコッタについての調査報告。 森本順子, 西村征一郎 (京都工芸繊維大学名誉教授) 平成10年度京都工芸繊維大学大学院修士論文に基づく。村野、森事務所の設計図から住宅作品の図面内容を調査し、アプローチ空間や諸室の構成、ゾーンの区分についての変遷や設計手法の分析。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. キセカエハウス -伝統的住環境技術を用いた対話のしつらえ-	共	2017年4月～ 2018年2月	エネマネハウス2017	ZEH・モデル住宅/統括事業代表者、設計・現場監理 「月刊SmartHouse No.31(2017.09)」 「月刊SmartHouse No.32(2017.10)」 「月刊SmartHouse No.36(2018.02)」 「住宅建築(2018.04)」 「新建築(2018.02)」 「新建築住宅特集(2018.02)」 「建築技術(2018.05)」 「エネルギーフォーラム(2018.02)」 「ピラック(2017.11)」 掲載 大学と民間企業等の連携により、先進的な技術や新たな住まい方を提案するZEHのモデル住宅を実際に建築し、住宅の環境・エネルギー性能の測定・実証や、展示を通じた普及啓発を行うプロジェクト。居住者が、季節や毎日の天候、ライフスタイルに合わせて断熱建具、通風建具、ロールスクリーン、可動間仕切りを自由に可変し、日射量(温熱環境)、間取り、外部からの視線などを調整することで、自ら快適な住環境を作り出せるネット・ゼロ・エネルギー・ハウスを提案。
2. 阪神電車鳴尾駅	共	2017年3月18日 上りホーム竣工	阪神電気鉄道株式会社、 共同設計	外観及び内観デザインなどの設計提案を行っている。 所在地：西宮市里中町3丁目 用途：駅 構造：地上2階 鉄骨造 駅舎の空間が基本的に備えるべき特質である記号性を追求し、波型鋼板を用いて、単純、均質な空間を構成した。階段や改札口、エスカレーター、エレベーター、サインなどが他に邪魔されることなく、くつきりと浮かび上がって見える必要があるため、屋根を支える梁や小梁、照明や通信のための配管などが眼に入らないように、下地材や仕上げ材が一切不要な波型鋼板のディテールを検討した。壁と屋根面が一体となった曲面による空間の中に、上り、下りそれぞれのホーム階を包み込む。これにより、先端技術の象徴でもある、高速走行する電車に良く調和した、流動的でダイナミックな駅舎空間ができあがる。
3. 上甲子園キャンパス 庭園灯のデザイン	共	2016年9月～ 2017年11月		照明器具デザイン 電球型LED照明を使ったボール型の庭園灯のデザイン。 株式会社朝日エティックとの共同制作。
4. 尼崎の工場敷地内 庭園計画	共	2016年5月～ 2018年2月	株式会社朝日エティック	庭園デザイン/設計・現場監理・施工(植樹) 尼崎の埋め立て地にある工場敷地内の緑地に、従業員の休憩スペースとなる庭園の設計。
5. 甲子園口商店街「和空間 たしなみ」店舗の内装デザイン	共	2016年10月～ 2017年2月		店舗(内装)/設計・現場監理 甲子園口商店街にある店舗付き住宅の1階部分を改装。飲食店の内装デザイン。
6. 就活シェアハウス「CREWSO」外壁のモザイクタイル画制作	共	2016年1月～ 10月	株式会社ディーマン	外装デザイン/設計・図案制作・現場監理 就活シェアハウスの西側外壁面に設置するモザイクタイル画の制作。
7. 旧甲子園ホテル 酒場の家具の復元	共	2015年9月～ 2016年2月		家具/図面作成・制作監理 甲子園会館・アートショップの家具更新ため、旧甲子園ホテル時代に使用されていた椅子とテーブルを復元。家具図面の作成と製作監理。
8. ペトラ博物館	共	2012年8月～ 2013年8月	JICA(国際協力機構)、 東京文化財研究所	博物館/設計・模型・報告書作成 JICA(国際協力機構)が支援を行っている世界遺産ペトラ(ヨルダン)における博物館の設計。東京文化財研究所との共同企画。
9. バーミヤーン博物館 BAMIYAN MUSEUM & CULTURE CENTER FOR PEOPLE	共	2012年6月～ 2013年12月	ユネスコ、東京文化財研究所	博物館+カルチャーセンター/設計・模型・報告書作成 ユネスコから委託を受け、東京文化財研究所と共同

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
10. 武庫川女子大学 トルコ文化研究センター シルクロード建築文化展示室（セラミック室）	共	2011年9月～10月		で企画。世界遺産パーミヤーン（アフガニスタン）における考古学資料等の展示・保管・研究を行う博物館と地域住民に開かれたカルチャーセンターの設計。 展示室/展示計画 甲子園会館内に開設されたシルクロード建築文化展示室の一室で、イランを中心とした装飾タイルを展示。展示の企画及び、陳列の施工を担当。
11. 新総合資料館（仮称）建設工事基本・実施設計業務に係る公募型設計競技	共	2011年5月～6月	京都府 主催	資料館/設計 京都府の新総合資料館（仮称）建設工事に関する設計競技に武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオから設計計画案を応募。資料館の平面計画および計画案の作図を担当。
12. 建築スタジオ・ラウンジ椅子	共	2009年12月～2010年2月		家具/図面・原寸模型作成 上甲子園キャンパス・建築スタジオのラウンジの座席増加のため、岡崎教授デザインのひじ掛け付ラウンジチェアの図面と原寸模型の作成を担当。
13. トルコ・バフチェシヒル大学内 日本文化研究センター・茶室	共	2009年10月～2010年6月		展示室・茶室/設計・模型制作・現場監理 トルコ・バフチェシヒル大学内に開設された日本文化研究センターの設計。同大学所有のビル1階内部に、床の間のある座敷と展示台の設計及び模型制作、現地での現場監理を担当。
14. 特別養護老人ホーム 力合つくし庵	共	2005年9月～2007年1月	福祉法人三顧会・熊本市高齢福祉課	福祉施設/設計・現場監理 隣接する老人病院と連携し、ショートステイやデーターサービスを併設した特別養護老人ホーム（入所者60名）の実施設計及び現場監理を担当。大阪市立大学・上田博之准教授（元・いるか設計集団）を中心とした設計チームとの共同プロジェクト。
15. 生野南部地区改良事業地区生野東住宅（B1・2地区）新築工事+ガイドライン作成	共	2003年9月～2004年12月	大阪市住宅局建設部	集合住宅/設計 大阪市生野南部地区の老朽木造住宅の密集地域における改良住宅（大阪市営住宅）の設計。また建設が予定されている改良住宅について、地区全体の建築ガイドラインの策定。IA0竹田設計との共同プロジェクト。
16. （仮称）東豊中第1団地（その1）D地区 L棟建築工事	共	2002年3月～2002年10月	UR都市機構関西支社 建替計画	集合住宅/設計 都市再生機構の東豊中団地の建替え事業。建築家 遠藤剛生を中心としたマスターアーキテクト方式による街づくりが実施され、そのうちの集合住宅1棟の設計を担当。
17. 暮雪荘・新築工事	共	2002年2月～2003年6月		個人住宅/第30回hiroba作品賞 設計・現場監理、「住宅建築（2006.12）」掲載 滋賀県比良山系の麓の雑木林に囲まれ、敷地内の樹木の保存をテーマとした木造の戸建住宅。
18. 学園前の家・新築工事	共	2002年10月～2004年7月		個人住宅/設計・現場監理 「新建築住宅特集（2005.3）」掲載 奈良・学園前の傾斜地に建つ、季節の歳時による行事を室内外で楽しむことのできる木造の戸建住宅。
19. 生野東地区住宅建設基本整備計画（B1・2地区）	共	2001年11月～2003年9月	大阪市住宅局建設部	集合住宅/基本計画・設計 大阪市の密集市街地整備のモデル事業として、国の補助事業である住宅市街地総合整備事業を活用し、住環境の改善と防災性の向上を図るための道路や公園、集合住宅建設の基本計画。IA0竹田設計との共同プロジェクト。
20. 生野南部地区改良事業地区・基本計画	共	2000年8月～2002年10月	大阪市住宅局建設部（都市再生住宅等整備事業）	集合住宅建設のための地区計画/基本計画 大阪市の密集市街地整備のモデル事業として、地元の「まちづくり協議会」と連携して地域参加型ワークショップ方式を導入し、地域住民との協働で住宅地区改良事業の全体計画を策定。IA0竹田設計との共同プロジェクト。
21. 志賀町のすまい・新築工事	共	2000年7月～2001年5月		個人住宅/設計・現場監理 「新建築住宅特集（2002.6）」掲載 農作業を楽しみながら住まう木造の戸建住宅。菜園とのつながりを密接にするための土間空間（食堂+キッチン）がある。
22. 平野郷地区まちなみガイドライン・モデル案作成	共	2000年1月～2000年3月	大阪市住宅局建設部	戸建住宅の新築・建替モデル設計/計画 国の補助制度「街なみ環境整備事業」を活用した、大阪市のHOPEゾーン事業。歴史的・文化的な地域の特性を活かしたまちづくりのための、建物の外観デザインや色彩等についてのルールを策定。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. パーミヤーン遺跡保存事業概報—2013年度（第11次ミッション）—	共	2015年2月27日	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター	アフガニスタン文化遺産調査資料集 概報第7巻 補遺：パーミヤーン博物館・文化センター，pp. 59～64，p. 81
2. 講演会シリーズ 「シルクロード	共	2015年～継	武庫川女子大学出版部	記録冊子（第1～2回）の編集

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
の文化と建築」		続中		ポスター・新聞広告デザイン 講演会の準備、運営など 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻主催/共催 東京センターのシルクロードをテーマに掲げた講演会シリーズの開催に伴う準備の他、一切を岡崎甚幸教授の下で担当。
3. 講演会シリーズ「わが国の近代建築の保存と再生」	共	2011年～継続中	武庫川女子大学出版部	記録冊子（第1～14回）の編集 ポスター・新聞広告デザイン 講演会の準備、運営など 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻主催/共催 東京センターの近代建築をテーマに掲げた講演会シリーズの開催に伴う準備の他、一切を岡崎甚幸教授の下で担当。
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2019年～現在	日本造園学会
2. 2015年～現在	文化遺産国際協力コンソーシアム
3. 2009年～現在	日本建築学会